



from KAWASAKI
川崎

調査船「ゆはず」から眺めた景色はいつもと違って見えました

川面から北上川を眺める

リバータイム「温故知新」

川崎中2年生は、総合学習の時間を利用して、世界遺産登録を目指す平泉の文化遺産と、地元川崎町や北上川の果たした役割とかかわりについて学びリバータイム「温故知新」に取り組んでいます。

5月1日には、平泉町の高館橋下水辺プラザから川崎町防災センターまでの約20kmの船下りに挑戦。調査船「ゆはず」と木造船「長生丸」、3艇のゴムボートに分乗し、いつもとは違う目線で北上川の流れを体感しました。研修を終えた小野寺恵さんは、「自分のふるさとにすばらしい川があることを誇りに感じた」と、地元の良さを再確認でき満足した様子でした。



from HANAIZUMI
花泉

田舎暮らしと人情に触れ

諏訪中学生が農業を体験

東京の多摩市立諏訪中学校(肥後忠弘校長)3年生94人は5月14日から3日間、「農業体験修学旅行」で花泉を訪れました。花泉町グリーンツーリズム推進協議会(風間邦敏会長)が、農業の活性化と田舎の素晴らしさを知ってほしいと、受け入れに協力して今年で5年目。一行は花夢パルに到着後、33戸の受け入れ農家と対面し、生徒代表の池ヶ谷美光さんは「多くのことを体験してしっかり学び、今後に生かしたい」と決意を述べました。風間会長は「自然、農業、田舎のことなどいろいろな感動を見つけて、たくさん思い出を作ってください」と歓迎。生徒は受け入れ先の農家に数人ずつ分散宿泊し、田植え、野菜の定植、牛の世話などの農作業を体験しました。

金沢の須藤敏昭さん、佐々木勇一さん宅に宿泊した生徒7人は、15日朝から、両家共同での田植えに参加。田植え機の運転に挑戦した男子3人は「田植え機をまっすぐに進めるのが難しい」と苦労していました。女子4人は、はだしになって田んぼの四隅を手植え。思うように足が運ばず悪戦苦闘しながらも、泥んこになって「すまっこ植え」を楽しんでいました。10時には、両家手づくりのがんばりやつきたての草もちでおやつタイム。格別の田舎の味を「おいしいおいしい」とほお張っていました。生徒たちの笑顔に、須藤さんと佐々木さんは「食べ物の大切さ、作るの大変さを学ぶとともに人と触れ合う体験は、最高の思い出になると思います」と語ってくれました。



上/泥んこの感触を楽しみながら「すまっこ植え」に挑戦した女子生徒
左/交代で田植え機の運転に挑戦した男子生徒



from DAITO
大東

最初のポイントを目指し、スタートする参加者

自然の魅力に触れて歩く

市民オリエンテーリング

アストロ・ロマン大東では、ゴールデンウィーク後半の5月3日から6日まで、釣り大会、トラバースポルタリング大会などさまざまなイベントが催され、多くの家族連れでにぎわいました。

3日には、18回目を迎えた「市民オリエンテーリング2008in大東」が専用コースで行われ、小学生と一般、ファミリーの三つの部門に大東、千厩地域から11チーム約30人が参加しました。

参加者は地図と方位磁石を手に、新緑のすがすがしい息吹を感じながら、制限時間内のゴールを目指してチェックポイントを探していました。

活気のにぎわいあふれる

いちのせき賑わい「ど市」

今年のいちのせき賑わい「ど市」は5月3日、錦町水天宮通りで開幕。三浦栄蔵実行委員会会長のあいさつに続き、関係者によるテープカット、祝いもちやよさこい演舞が行われオープンを祝いました。

好天に恵まれたこの日は、朝から家族連れなどで大盛況。野菜や海産物など自慢の品を並べた店、フリーマーケットから「いらっしゃいませ」の音が響く中、訪れた人たちは「新鮮だね」「どれもおいしそうだね」と言いながら買い物を楽しんでいました。

ど市は8月を除く10月までの毎週第1土曜日に行われます。



from HCHINOSEKI
一関

会話を楽しみながら熱々の品を求め来る来場者



from MURONE
室根

マイペースで山頂を目指す参加者

観光シーズン幕開け祝う

200人参加し室根山山開き

県内で一番早い山開きとなる県立自然公園室根山(標高895.4m)の山開きが4月20日行われ、観光シーズンが幕を開けました。

室根山自然愛護少年団や上折壁自然愛護少年団をはじめ約200人が参加。開会行事が行われた蟻塚公園では、むろね南流太鼓による打ちばやしの演奏が披露され、山開きに花を添えました。関係者によるテープカットで一斉登山がスタート。晴天の下、急こう配の参道を登り山頂を目指した参加者は、途中、室根神社でシーズン中の安全を祈願。約2時間で山頂に到着した参加者は、全員で万歳を三唱し、眼下に広がる素晴らしい眺望を満喫しました。

大きいタケノコ掘ったよ

東山公民館学びの土曜塾

東山公民館が主催する学びの土曜塾「たけのこ掘り」は5月17日、長坂字大持の鈴木昭助さん所有の竹林で行われ、小学生15人が参加しました。

子どもたちは、講師の小山玄夫さんから竹の生態や掘り方を学んだ後、30~50cmほどに成長したタケノコを見つけては夢中になって掘り出しました。自分が収穫したタケノコを鈴木さんから土産としてプレゼントされると、皆にっこり。たけのこ掘りの後は、たけのこご飯で作ったおにぎりをおいしそうにほお張っていました。



from HIGASHIYAMA
東山

掘り出した大きなタケノコを手いれしそうな参加者

川の元気を取り戻そう!

千厩川で120人がごみ拾い

弓手川(千厩川)結いネットワーク(千田恭平代表)が主催する「千厩川元気再生大作戦」は5月11日、開催されました。

命の水「千厩川」を自分たちでホテルの飛び交うきれいな川にしようとして平成15年から年に数回行われ、今回で15回目。女性団体や町内会、ボーイスカウト、地元企業などから約120人が参加し、梅田橋から大光寺までの約1.3kmを歩きながら、川に落ちているごみを拾いました。清田地区、中沢地区でも同時に実施され、3カ所での大作戦となりました。



from SENMAYA
千厩

空き缶や粗大ごみでゴミ袋がたちまちいっぱい